

令和4年6月13日

国民民主党 御中

図書館友の会全国連絡会

代表 阿曾千代子

「公立図書館の振興・発展に関する政策」についての 公開質問状

私たち「図書館友の会全国連絡会」は、全国各地で公立図書館の振興・発展のために活動を行っております。毎年、文部科学大臣と総務大臣へ要望書を提出するとともに、主として文部科学委員会、文部科学委員会議員の皆様のもとへお伺いし、提出した要望書の概要をお話し、お力添えをお願いしております。

皆様には日頃より、私たちの活動に深いご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

ご承知のように、日本の公立図書館は先進諸国に比べ質、量ともに未だ低いレベルであるにもかかわらず、最近では、資料費や人員の削減ばかりか、指定管理者制度導入による民営化など、多くの問題に直面しています。

新しい活力のある社会を築くためには、迂遠であっても、知力、文化力、技術力といった基礎的な力を身につけ、自ら考え判断する力を持つ人間が育つ環境を整備することが重要です。

そのような力が民主主義社会を支え、わが国の繁栄につながるものと考えます。

2019年6月、活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクトは、「公共図書館の将来―「新しい公共」の実現をめざす―(答申)」を提出しました。その策定にあたっては、私たちもプロジェクトメンバーとして参加しました。答申では、公共図書館の現状とその課題を示すとともに、将来に向けた提言を掲げています。私たちはこの答申の実現に向け、皆様と一緒に活動していきたいと願っております。

つきましては今回の参議院議員総選挙に当たって、以下の項目について貴党のお考えをお聞かせ下さい。(マニフェストがあれば、その詳細な内容をお知らせ下さい。)

(1) 公立図書館の振興・発展に関する政策についてお考えをお聞かせください。

公立図書館や郷土資料館、博物館等の充実を地域起こしの一環として位置付け、公立図書館等の整備充実を進めます。また、文字・活字文化の振興を図るとともに、図書館司書の充実を図ります。学校図書館や児童図書館の充実と司書等の配置を促進するとともに、図書館を子どもたちの居場所の一つとして位置付け、子どもの読書環境を改善します。

(2) 「活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクト」の「5つの提言」について、お考えをお聞かせください。

1. 首長の指導力と住民参画による図書館運営

公立図書館は地域住民の財産です。首長が適切な指導力を発揮し、住民参加による公立図書館等の活性化を進めます。

2. MARC選択の多様性確保とNDCの付与

全国書誌情報と選書用近刊情報の広報・普及により、利用者には官民協力しての情報提供

が必要です。また、デジタル検索の効率化を図るために NDC を利用することは検討に値すると思います。

3. 図書納入は地域書店を優先

地域書店の優先は結構なことだと思います。地域に根ざした書店があることは、子どもだけでなく大人にとっても活字を身近に感じる大切な機会です。大手書店だけでなく地域の書店を利用することを地域起こしの一環として位置付けます。

司書の社会的地位の確立

図書館司書の役割は極めて重要です。司書の社会的地位の更なる確率に向けて、同一労働同一賃金の原則の下、非常勤雇用問題や官製ワーキングプア問題の解決を目指し、公務員にも労働契約法等の趣旨を適用すること等、具体的取り組みを進めます。

4. 新しい評価指標づくり

図書館の評価は貸出率が中心でしたが、時代の変化と共に、その基準も変わりあります。親子で参加できるスペース、読書環境・空間の快適さ、デジタルへの対応、地域に根ざした文献資料の所蔵など、多岐にわたる新たな指標を組み込むべきです。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、6月23日までに、文書で下記連絡先まで、メールにてご回答下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、ご回答は当会ホームページ等で公開させていただきますことをご了承下さい。

何かご不明なことがございましたら、どうぞご遠慮なく連絡担当迄お問い合わせ下さいますようよろしくお願い申し上げます。

【連絡先】 図書館友の会全国連絡会
事務局長 船橋佳子

〒666-0035

兵庫県川西市花屋敷1-31-25-4

電話/FAX 072-741-4582

E-mail yoshiko-fu@nifty.com

【参考】

「図書館友の会全国連絡会」HP

<https://totomoren.net>